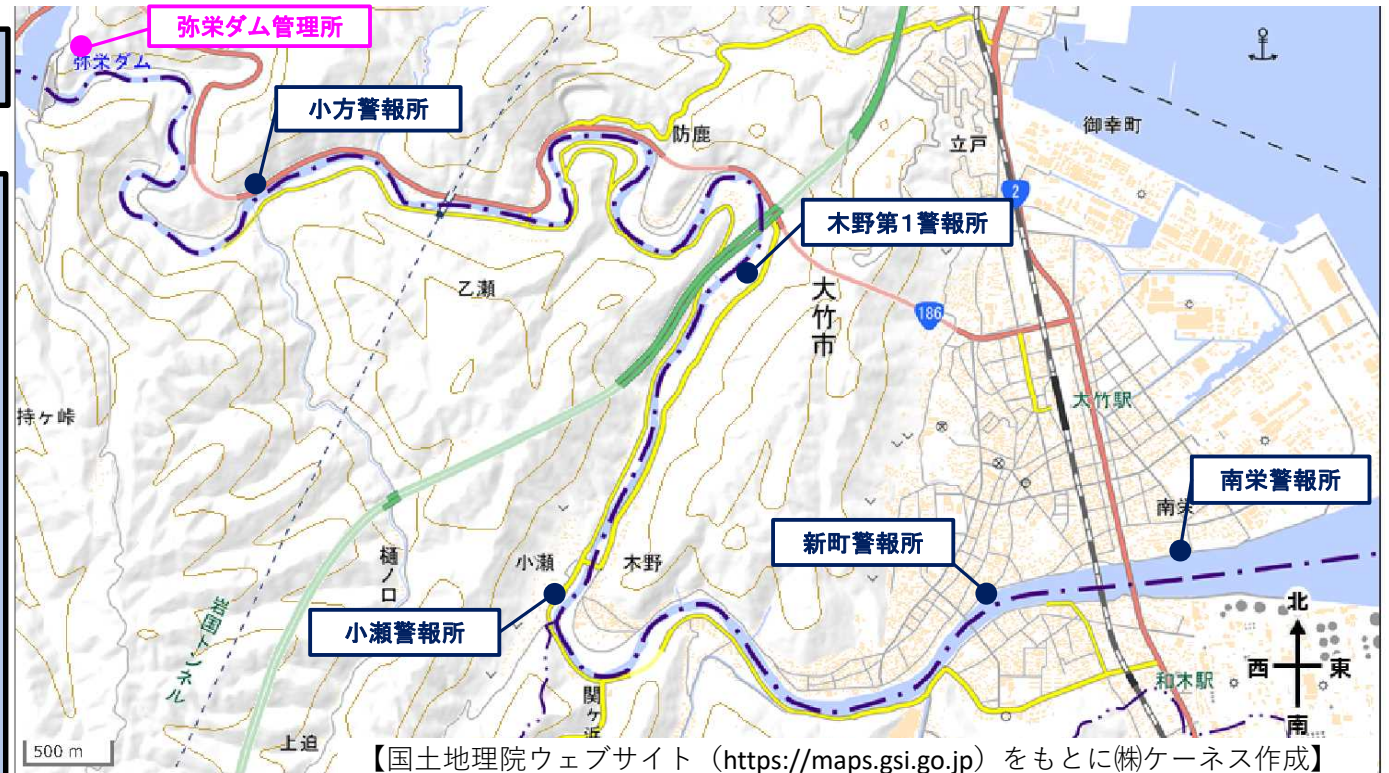


弥栄ダム放流警報施設 スピーカ音達試験へのご協力のお願い

弥栄ダム放流警報施設位置図

○放流警報施設の目的

河川内にいる河川利用者及び河川内に立ち入ろうとしている人々に対して、**放流による流水の状況を、速やかにかつ正確に伝えるために警報局を設置しています。**



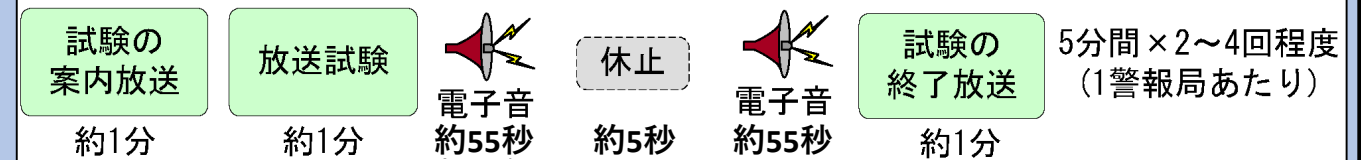
○スピーカ音達試験実施内容 放流警報局:全5局

実施日時 令和3年3月16日(火) 9:00~17:00頃

(予備日) 令和3年3月17日(水) 9:00~17:00頃

※天候によって試験の実施日を変更する場合があります。

音達試験の流れ



弥栄ダム放流警報施設のスピーカ音達試験の内容について

ダムからの放流時に、警戒を促す役目を持つ警報設備(スピーカ)の届き方を確認することを目的とし、以下のとおりスピーカの音達試験を実施いたします。

住民の皆様方のご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

- ◆実施日時 令和3年3月16日(火) 9:00~17:00頃
(予備日) 令和3年3月17日(水) 9:00~17:00頃
※天候によって試験の実施日を変更する場合があります。
- ◆実施箇所 各警報所:小方警報所、木野第1警報所、小瀬警報所、新町警報所、南栄警報所(計5箇所)
- ◆実施方法 放流警報所毎にスピーカから試験の案内放送を行った後に電子音を鳴し、警報所周辺に配置した作業員が調査・測定を行います。
1警報所あたり2~5回程度鳴らす予定です。

～スピーカ音達試験放送内容(例文)～

1. 案内放送(スピーカ音達試験の開始を放送します。) 約1分
「こちらは、国土交通省弥栄ダム管理所です。ただ今からダム放流警報のテストを行います。このテストは、ダムから水を放流する場合のスピーカ放送の音の伝わり方を調べるテストです。」
2. 放送試験(音声放送により音達範囲、明瞭度を調査します。) 約1分
「ただ今、ダム放流警報の音の伝わり方のテストを行っています。本日は晴天なり。本日は晴天なり。」
3. 疑似音放送試験(疑似音による吹鳴を行い、音達測定を行います。) 約3分
「続いて、スピーカから電子音を放送します。これはテストですので、お間違えのないようにお願いします。」
4. 試験終了(音達試験の終了を放送する。)
「以上で、ダム放流警報のテストを終了します。ご協力ありがとうございました。」

疑似音吹鳴パターン



- ◆作業実施業者
株式会社ケーネス
主任技術者 岡野 健次
住所:広島県広島市東区
光町1-10-19
電話:082-261-7098
- ◆問い合わせ先
国土交通省 中国地方整備局
弥栄ダム管理所
担当:青野 浩二
住所:広島県大竹市小方町
小方813-1
電話:0827-57-3135(代)